

留学報告書 II (2022 年度留学生)

塾内在籍校・学年(派遣時)	慶應義塾湘南藤沢高等部 2 年
留学先校名	The Hotchkiss School
留学期間	2022 年 9 月から 2023 年 6 月まで

留学を振り返って

クラブ活動や課外活動など、学業以外の活動について教えてください。

<課外活動>シーズンごとに一つ放課後のアクティビティ、co-curricular を選びます。

-FFEAT (秋)

秋シーズンは、受験をした時から興味があった FFEAT(Fairfield Farm Ecology and Adventure Team)を選択しました。Hotchkiss の敷地内には、280 エーカー程の、Fairfield Farm があります。そこで、毎日栽培や掃除をし、野菜や果物がどのようにして私たちの手元に届くのかを学ぶアクティビティでした。自分が食べているものがどのように作られているのか、どんな栄養があるのか、環境にどのような影響を与えているのかなどを深く考えさせられた時間でした。作業をしながら仲間と共に、生のパプリカなどに齧り付いたのも良き思い出です。日本で当たり前のように何も考えずに、スーパーやコンビニで商品をカゴに入れていた私の常識を覆す経験でした。

-Woods Squad (冬)

冬シーズンは、Woods Squad という敷地内の森林をハイクしたり、trail の邪魔になっている落木を整備したりするアクティビティでした。雪が積もり非常に寒い中ハイクをし、火をおこし見た景色はとても荘厳な雰囲気のものでした。

-JV Ultimate Frisbee (春)

春シーズンは、日本ではできないチームスポーツに挑戦したいと思い、初心者ながら Ultimate Frisbee を選びました。Ultimate Frisbee は7対7で、ディスクを投げコートの反対側の相手のエンドゾーン内までパスを繋げる競技です。水曜日、土曜日には試合が毎週行われ、多くのボーディングスクールと対戦しました。チーム内の雰囲気がよく、チームスポーツをしたことのない私でも楽しめるスポーツでした。

<クラブ活動>基本自由に参加ができ、学校に 100 個以上存在します。

-Songs for Smiles

二週間に一度ほど、近くの老人ホームで楽器の演奏をするボランティア活動です。私は、トランペットのソロやデュエットを披露したところ、大変喜んでいただくことができました。演奏だけでなく、演奏後に会話を交わすことによって、日本では全くなかった地域の方との交流を深めることができ、充実した経験でした。

-St. Luke' s Society

学校最古のボランティア団体です。この団体を通して、Crop Walk という Fundraiser や Food Pantry で直接支援が必要な方達に自分の手で食料を届ける貴重な体験をすることができました。学校の中にいると裕福な環境に囲まれて社会問題について忘れてしまいがちなため、ボランティアは少し周りにある厳しい現実を思い出させてもらえる良い機会でした。

-その他

Hotchkiss Record という伝統ある学校の新聞記事をボランティアとして何度か執筆し、出版してもらいました。ニュースだけでなく、学校の施設や行事についての記事も執筆しました。出版までには、様々な生徒や先生にインタビューを自分でスケジュールし、Editor の生徒や先生とやりとりをする必要がありました。とても大変でしたが、人との交流を増やすことができた上、出版されるまでの過程と出版された時の達成感はとても価値のあるものでした。

また、Hotchkiss Record 同様 No Limits というサイエンスマガジンの記事も執筆し、出版してもらいました。このように、多くの人に読んでもらう記事を書くことは、あまり経験のないことだったので難しい部分もありましたが、わかりやすい文章を書くスキルを養い、かなり向上させることができました。

Pan Asian Affinity というアジア生徒のみが参加できるミーティングにも何度か参加しました。主に、アジア人に向けたヘイトクライムやアメリカに住むアジア人だからこそこの課題などをディスカッションしました。特に印象的だったのは、“Asian body image and beauty standards” というタイトルのミーティングやカリフォルニアで mass shooting が起こった際に開かれた緊急のミーティングです。今まで当たり前だと思っていたものも自分のアジア人というアイデンティティだからこそかもしれない、と気づく機会でした。

学業について

各授業について授業の内容・進め方・課題・試験・日本との比較などについて触れながら記入してください。

-数学(MA480Y-Honors Precalculus)

微分積分学を学ぶ一つ前の段階の Precalculus の授業でしたが、Honors 授業であったため内容がとても充実していました。授業があるたびに課題が出て、次の授業までにオンライン上で提出する必要がありました。二週間に一度くらいの頻度であるテストは、4-5 問ほどでしたが完全に理解をしていないと解けないような問題で、成績に大きく反映されるので大変でした。初めは日本との違いに苦労しましたが、放課後ある Math Help に行くなど時間をかけたことで成績を上げることができました。Wall street で働いていた経験もある先生は、数学の内容だけでなく歴史にもとても詳しく、常に興味深い授業でした。

-物理(PY380-Honors Physics)

日本の高校でも学ぶ物理の基本的な法則などを実験から学び、主にワークシートにとりかかりました。こちらの授業でも二週間に一度ほどクイズやテストがあったため、常日頃からの復習が大切でした。さらに、ロケットを3人グループで作成し、スプレッドシートを用いてシミュレーションをするという1年間のサイドプロジェクトもありました。作ったロケットで American Rocketry Contest に参加しました。惜しくも本選に出場することはできませんでしたが、学んだ法則を利用し、高度などの予測を立てるというプロセスはとても実践的であり、楽しさもありました。

-フランス語(FR150Y-First year French)

内容は、SFC のフランス語の授業と被る部分が多くありましたが、週に4時間授業があるため早いペースで進んでいきました。Speaking 重視の授業であり、間違えを恐れずにどんどん発言や質問ができる環境があるとても楽しい授業でした。数学と同様、毎授業前オンライン上で提出する課題や二週間に一度ほどクイズがありました。クイズの内容は、暗記ではなく、自分の知っている文法や単語を使って文章を書くものが多く、毎度自分の成長が感じられました。

-英語(EN350Y-English)

1年間に8冊ほど読み、それぞれについて授業でディスカッションをし、エッセーを書きました。ただ物語を理解するだけでなく、高度な分析を前提とした授業であったため初めは大変苦勞しました。想像以上の難易度であったため一番時間を費やした授業でしたが、先生とのミーティングをスケジュールしたりすることで成績をどんどん上げることができとても達成感がありました。

H&SS(History and Social Studies)のコースは、1年間のものと学期ごとのものがありました。より多くのトピックを学びたいと思い、学期ごとのクラスを選択しました。

-持続可能なフードシステム(SS458F-Sustainable Food Systems)

秋に選んだ Sustainable Food Systems の授業は、完全にディスカッションベースの授業で、自分の食との関係性と文化、政治、経済が食の流通システムにどのような影響を及ぼすのかを考えるものでした。毎授業トピックに関する動画や記事の予習の課題があり、ディスカッションできるよう用意をしていました。学期の最後のグループプロジェクトでは、食肉処理場からそれぞれの牧場を行き来するトラックが大量のガスを排出しているという問題に着眼し、解決法を発表しました。

-グローバル移住(SS455S-Global Migrations: People, Politics, Economics)

春には、グローバル移住に関する授業を選択しました。この授業では、はじめに記事、動画、ディスカッションや Hotchkiss で働く移民の先生のインタビューを通して予備知識を付けた後、個人のリサーチプロジェクトに取り組みました。「グローバルな移住の傾向と資本主義の促進の関係性は何か」などのとても深いディスカッションに日々感銘を受け、自分も参加できるよう予習を繰り返し行いました。個人のリサーチプロジェクトでは、日本の移民の少なさに着眼し、原因や現状の考察、解決案の提案をプレゼンしました。

-オーケストラ(MU351F/MU351S-Brass)

週に3時間の全体練習があり、毎回 Elfers Hall という素敵なホールで練習ができました。年に3回コンサートがあり、毎回5曲ほど演奏するため早いペースで練習が行われました。それに加え、指揮者でもあり Hotchkiss の Arts の Head である先生に選ばれ、プロと演奏する Hotchkiss Philharmonic に参加することができました。プロのトランペット奏者と一緒に演奏したスメタナの「我が祖国」のソリは一生忘れられません。

-トランペットレッスン

オーケストラの授業をとっていると、個人レッスンを週に2回受けることができました。プロの方との週に2回のレッスンは学びの多い楽しい時間でした。

今後の派遣留学生へのアドバイス

渡米前に、日本の社会問題や文化についての知識を増やすと、クラスのディスカッションにて自分だけの発言をすることができ、話題を広げることができます。私も Sustainable Food Systems のクラスや Global Migrations の授業で日本の少子高齢化問題や災害の問題などにトピックをつなげて話すことが多くありました。その他には、数学で使われる専門用語や解法が少し異なる場合があるため、

慶應義塾一貫教育校派遣留学制度

すぐに慣れることはできますが、予習をすると便利かもしれません。

留学中、計画通り行くこと、うまく行かないことが必ずあると思います。私も当初、Global Migrations の授業を受ける気は全くありませんでした。たまたま、昨年度学校に在籍していなかったり、最高学年でなかったりして優先順位が低く、取りたかった授業は waitlist にのせられてしまったため、受けることになった授業です。しかし振り返ってみると、Hotchkiss にて印象深かった授業の一つです。どんなことがあっても一つ一つの出来事が成長の機会だとポジティブに捉え、悔いのない 10 ヶ月間を過ごせるよう祈っています！

以上

